

兵庫県版

# 日本の息吹

第二十九号 令和四年 (皇紀二六八二年)  
四月二十五日発行 日本会議兵庫県本部事務局  
六五〇・〇〇一五 神戸市中央区多聞通三・一・一  
兵庫県神社庁内 (〇七八・三四一・一一四五)  
HP <https://www.nipponkaigihyogo.org/>  
メール nipponkaigihyogo@gmail.com



「旧姓の通称使用の拡大とその周知など第五次男女共同参画基本計画に沿った政策推進を求める意見書」神戸市会で採択される!

家族の絆を守る会 神戸支部

藤波礼子

内閣府の令和三年十二月の統計調査により、選択的夫婦別姓導入を求める回答は三割にも満たなかったにもかかわらず、別姓導入の推進派は、統計結果を歪め、あたかも世論の七割近くが別姓に賛成しているかのよう数字を歪曲して示し、それが説得力となって、選択的夫婦別姓の法案が各地で採択され、兵庫にも波が押し寄せてきました。



選択的夫婦別姓制度を導入すれば、姓は単なる「個の名称」になり、「家族の呼称」(ファミリーネーム)が消失し、「家族の一体感」や「親子の一体感」を失う恐れがあり、「子供の福祉」「子供の利益」という視点からも、子供の健全な成長にとつて、決して好ましいものとは言えません。また、「先祖代々の家名」の消滅により、お墓参りや先祖を敬う日本の良き伝統も廃れてしまいかねません。

日に神戸市会総務財政委員会において口頭陳述することになりました。初めての体験で、始めは不安でしたが、守屋隆司議員、山下てんせい議員のご助言とご尽力を賜り、五対四で無事、採択され、皆で大喜びしました。同日、選択的夫婦別姓派の陳情も出されましたが、二対七で不採択となりました。

当日は、九名の方が傍聴にかけつけて下さいました。神社にお参りして下さった方、ご自宅や職場で祈って下さった方、応援メールを下さった方、皆様の国を憂う思いに背中を押されて、採択されたと思えます。皆さんのあたたかいお心が何より有難く、日本のお役に立ちたいという仲間と共に歩める幸せを強く感じました。

「家族の絆を守る会」や「日本会議兵庫女性の会」のメンバーが、選択的夫婦別姓の法案を阻止しなければと各地に陳情書を提出することを、熱い思いで推進して下さいました。その思いを受けて、別姓派の「婚姻により旧姓の使用ができなくなる」との不便・不利益がある」との主張を払拭する為、旧姓の通称使用に根拠を与える法律の整備や旧姓の通称使用の拡充を周知し、第五次男女共同参画基本計画に沿った政策推進を求める陳情書を神戸市会に提出しました。そして、三月二十三

三月二十八日、神戸市会の本議会が行われ、守屋隆司議員より提案説明がなされ、賛成多数により、無事可決し、意見書が国の関係機関に提出されました。守屋先生、山下先生を始め、応援して下さいました皆様様に心より感謝申し上げます。

## 《 4月25日以降の日本会議兵庫関連団体の主な催物 》

- 4月22日(金)19時～日本会議兵庫神戸セミナー『湊川神社の御創建について』西原秀樹氏(湊川神社権宮司) あすてっぶ神戸
- 4月29日(祝)7時～神戸護國神社清掃奉仕活動 おむすびとお茶 07055082577 《5月15日(日)沖繩復帰五十周年》
- 5月3日(火・祝)10時半～11時半 憲法街頭活動 神戸大丸前 13時45分～『憲法フォーラム in 神戸』県学校厚生会館
- 6月4日(土)14時～中・西播磨支部学習会 姫路護國神社『国難を乗り越えてきた先人に学ぶ-今なお続く国難』金井利孝氏(幹事)
- 6月25日または17日(金)19時～日本会議兵庫神戸セミナー『日本の近代史(特に昭和史)と八代斌助』(仮) あすてっぶ神戸
- 7月9日(土)14時～中・西播磨支部学習会 姫路護國神社『国難を乗り越えてきた先人に学ぶ-文永の役・弘安の役』堀隆一氏(常任幹事)
- 《 7月10日(日)前後 参議院選挙投票開票 》
- 7月18日(月・祝)午後 日本会議兵庫県本部総会 記念講演 織田邦男 元空将 会場 ありまホール(神戸市北区)
- 8月6日(土)14時～中・西播磨支部学習会 姫路護國神社『国難を乗り越えてきた先人に学ぶ-黒船来航』泉 和慶氏(副支部長)
- 8月11日(木・祝)7時～神戸護國神社清掃奉仕活動および8時45分～『英霊感謝の集ひ』「島田 勲元沖繩県知事」(予定)
- 《 8月15日 終戦記念日祭 》
- 8月27日(土)午後 中・西播磨支部総会・記念講演会 姫路市勤労市民会館
- 9月10日(土)14時～中・西播磨支部学習会 姫路護國神社『国難を乗り越えてきた先人に学ぶ-日露戦争』土肥清明氏(常任幹事)
- 10月15日(土)14時～中・西播磨支部学習会 姫路護國神社『国難を乗り越えてきた先人に学ぶ-大東亜戦争』三木英一氏(支部長)

政令都市神戸市で採択されたの  
で、他の自治体にも良い影響があり  
ますようにと祈るばかりです。

以下、意見書を掲載します。

令和四年三月二十八日

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大  
臣 総務大臣 法務大臣 内閣府特命担当  
大臣（男女共同参画） 内閣官房長官 様

神戸市会議長 坊 恭寿

旧姓の通称使用の拡大やその周知  
など第5次男女共同参画基本計画に  
沿った政策推進を求める意見書

令和二年一二月に閣議決定された  
第5次男女共同参画基本計画に  
「夫婦の氏に関する具体的な制度の  
在り方に關し、戸籍制度と一体と  
なった夫婦同氏制度の歴史を踏ま  
え、また家族の一体感、子供への影  
響や最善の利益を考える視点も十分  
に考慮し（中略）更なる検討を進め  
る」とこと及び「婚姻により改姓した  
人が不便さや不利益を感じることに  
ないよう、引き続き旧姓の通称使用  
の拡大やその周知に取り組み」こと  
が明記されました。

現在、婚姻に際して、女性が姓を  
改める例が圧倒的多数です。そのた  
め、旧姓の使用範囲を拡大する法制  
上の整備を進めることにより、女性  
の社会進出に伴う不都合を解消し、  
旧姓を使用しやすい環境作りを促進  
することが必要です。

よって、国におかれては、現状に  
合った旧姓の通称使用の拡大やその  
周知に取り組みとともに、第5次男  
女共同参画基本計画に沿った政策を  
推進されるよう強く要望します。

以上、地方自治法第九九条の規定  
により意見書を提出します。

兵庫県議会にて「小中高等学校卒  
業証書への通称記載について本人・保護  
者の意向を尊重した対応をとるよう  
自治体教育委員会に周知徹底を求め  
る意見書」が採択される！

編集部

去る三月三十日、兵庫県議会本会  
議にて、表記の意見書が全会一致で  
採択されました。この度、神戸市の  
ある高校生が、親の離婚により、卒  
業証書における旧姓の通称使用を求  
められたことに端を発し、頑なな県  
教委に働きかけてきていた問題で、  
「戸籍における夫婦同氏」の「ファ  
ミリーネーム」を堅持した上で、  
「子供の氏の安定性」を損なっては  
ならないとの高市氏本来の通称使用

議にて、表記の意見書が全会一致で  
採択されました。この度、神戸市の  
ある高校生が、親の離婚により、卒  
業証書における旧姓の通称使用を求  
められたことに端を発し、頑なな県  
教委に働きかけてきていた問題で、  
「戸籍における夫婦同氏」の「ファ  
ミリーネーム」を堅持した上で、  
「子供の氏の安定性」を損なっては  
ならないとの高市氏本来の通称使用

議にて、表記の意見書が全会一致で  
採択されました。この度、神戸市の  
ある高校生が、親の離婚により、卒  
業証書における旧姓の通称使用を求  
められたことに端を発し、頑なな県  
教委に働きかけてきていた問題で、  
「戸籍における夫婦同氏」の「ファ  
ミリーネーム」を堅持した上で、  
「子供の氏の安定性」を損なっては  
ならないとの高市氏本来の通称使用

議にて、表記の意見書が全会一致で  
採択されました。この度、神戸市の  
ある高校生が、親の離婚により、卒  
業証書における旧姓の通称使用を求  
められたことに端を発し、頑なな県  
教委に働きかけてきていた問題で、  
「戸籍における夫婦同氏」の「ファ  
ミリーネーム」を堅持した上で、  
「子供の氏の安定性」を損なっては  
ならないとの高市氏本来の通称使用

議にて、表記の意見書が全会一致で  
採択されました。この度、神戸市の  
ある高校生が、親の離婚により、卒  
業証書における旧姓の通称使用を求  
められたことに端を発し、頑なな県  
教委に働きかけてきていた問題で、  
「戸籍における夫婦同氏」の「ファ  
ミリーネーム」を堅持した上で、  
「子供の氏の安定性」を損なっては  
ならないとの高市氏本来の通称使用

議にて、表記の意見書が全会一致で  
採択されました。この度、神戸市の  
ある高校生が、親の離婚により、卒  
業証書における旧姓の通称使用を求  
められたことに端を発し、頑なな県  
教委に働きかけてきていた問題で、  
「戸籍における夫婦同氏」の「ファ  
ミリーネーム」を堅持した上で、  
「子供の氏の安定性」を損なっては  
ならないとの高市氏本来の通称使用

以上、地方自治法第九九条の規定により意見書を提出する。

令和四年三月三十日

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 様  
内閣官房長官 財務大臣 文部科学大臣 様

兵庫県議会議長 藤本 百男

法案を補完する位置づけとして学校  
卒業証書における通称の扱いにつ  
き、議連を始めとした関係議員のご  
尽力によって、各会派が反対出来な  
い文言に修正され、全会一致の結果  
を得て国に提出ができたことは、ま  
ことに評価すべきと考えこの場で報  
告させて頂いた次第です。

令和四年度支部学習会企画す！

中・西播磨支部

コロナウイルスの猛威が収まらない中、  
検討を進めて参りました令和四年度  
支部学習会は、昨年に引き続き予防策  
を実施し、定員を会場枠の二分の一、  
長机一脚に二名とし、日本会議会員  
を優先対象に、総数四十名先着順限  
定としました。

会場である兵庫縣姫路護國神社さま  
の全面協力を仰ぎ、三密を回避して開  
催することと致します。

今年のテーマは「日本の国難を乗り越  
えてきた先人に学ぶ」

六月四日（土）から、十月十五日（土）  
まで、毎月一回、計五回を予定し、講  
師には支部役員があたります。詳細  
は、「日本の息吹」四月号折込チラシを  
参照ください。

三月二十一日をもって、まん延防止  
等重点措置区域から解除されたとはい  
え、まだまだ慎重に、安全で安心でき  
る学習会開催を目指します。会員皆  
様のご理解とご協力を宜しくお願い申  
し上げます。

中・西播磨支部 土肥常任